

- 私は合併市でその担当をしていますが、議会等から検証すべきとの意見が出されていて、ただ合併市側で出すとどうしても偏ってしまう面もあることから、県でやってほしいと言ってきた。今回、県の方で報告書をまとめてもらってありがたいと思う。
合併市では、どこでも新市建設計画等に盛り込まれた事業について合併特例債等を活用するなど、かなりの負担をして合併で約束した事項を着実に進めており、合併の効果はあると考えている。一方で、課題、問題も当然あるだろうと思うので、この部分はサービス向上をやっていく必要があると考えている。
- 合併しなかった首長さんの意見を聞くと、地域の伝統・文化が失われることを懸念されているが、構想作成時からそのことを心配されていた委員もいたが、実際、どう感じているか。
- 文化は、合併によって変化するものではないと思うが、伝統行事となるとどうしても人手が必要であり、高齢化した地域では、これを守るのが困難になってきている。
婦人会は、地域の行事を支える担い手であるが、会員もリーダーも減っている状況にある。その原因が何かよくわからないが、人と人との繋がりが希薄になっており、その原因が合併だという人もいるようだ。
- 以前、地元で合併協議会の委員を務めていて、周辺5町で合併することである程度協議も進んだが、新市庁舎をどこにするかで紛糾し、協議がまとまらなかった。合併は非常に難しい作業という印象を持っている。ただ、今のままでは、将来に不安を感じるので合併してほしいと思っており、今後とも合併に向けた取組を支援してほしい。
- 合併によって効率化が進んだと言われるが、効率化により浮いた財源がどう使われたのか十分示されていないと思う。そのため、住民に合併の効果が認識されていないのではないかと感じている。
それから、我々商工業の関係者では、高速道路が開通したら、それに対応できるようさらに広域で合併をして、20万人都市をつくらうのではないかと考えている。より広域で取り組むことによって、産業が発展する可能性があり、県を4つくらいに分けるくらいの意気込みで、合併を進めていただきたい。
- 合併による効率化の効果を住民に示すべきということについては、まさにそのとおりであり、県としても十分対応しなければいけないし、合併市町においても、そのような視点を持つことは大事だと考えている。

○ 私の町は、自立を宣言している。合併のメリットについては十分認識しているが、これまで一度も合併を経験していないため、十分伝わらないところがある。少子化も進み、将来的に心配がないわけではないが、まずは努力していくことが大事だと考えている。我々のような小さな町では、役場や農協は重要な働く場である。町には産業活性化協会があって、いろいろな施設の運営をやっている。ここで、7～80人、社会福祉協議会でも100人くらい働いている。民営化すると、合理化が進むことから、町営でやっている。まだまだ問題は山積しているが、頑張っているところである。

○ 県内の市町村合併は、一段落しているようだが、市町村によっては隣県の自治体と交流しているところもある。県をまたいでの合併や県同士の合併、さらに道州制について、どのように進んでいくのか伺いたい。

→ 県境をまたいでの合併については、長野県と岐阜県の間で事例があり、そのような議論が進むこともあり得ると思う。

道州制については、九州は先進地とされており、財界を中心に検討が進められている。仮に道州制が導入されると、県でやってきた業務の多くが市町村でやることになり、市町村の果たすべき役割はますます大きくなることから、行財政基盤の強化が求められてくると考えている。

○ 私は自治会に関わっているが、最近、高齢化だけでなく、核家族化も進んでいることから、高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が多くなっており、これらの人を地域でどう支えるかが大きな課題となっている。また、犯罪も増えてきており、防犯灯の設置など財政面での補助が必要な状況になっている。このようなことから、合併による効果が地域住民に十分還元されることを望んでいる。

また、合併の効果や課題の説明があったが、数年では分からないところも多いので、特に周辺部における懸念事項などについて、今後ともフォローしていくことが大事ではないかと考えている。

○ 私は、合併したばかり市の旧町域の住民だが、地域の状況としては、水道料が安くなったり、ごみ収集方式が変わったり、少し変化があるが、今のところ行政面で不自由を感じることはない。ただ、婦人団体が中心市にないことから地元もなくなったり、今後徐々に不便なところが出てくるのではないかと心配している。